

S I A 認定スノーボード教師 検定実施要綱

<資料>

S I A 認定スノーボード教師検定規程に基づき、検定を行うためにこの実施要綱を定める。

スノーボード・ステージ I

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○対象に応じた指導法・技術検定 ○教師の心得 ○作文

ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

2. 実 技

(1) 集合講習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○初歩のターン ○ロングターン ○ショートターン ○フェイクターン

ロ. 採点方法

会長が委嘱した 2 名の講師またはイグザミネーによって採点し、2 名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

120点以上を合格点とする。

3. 指導実習

(1) 集合講習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○指導計画の作成 ○個人指導 ○集団指導 ○対象に応じた指導

ロ. 採点方法

会長が委嘱した 2 名の講師またはイグザミネーによって採点し、2 名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

120点以上を合格点とする。

スノーボード・ステージⅡ

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○力学 ○救急法 ○スノースポーツの変遷 ○技術指導法
- 雪山の安全対策論 ○指導者論・技術検定（メダル）
- 対象に応じた指導（障がい者スキー）

ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

(2) 通信講習

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○力学 ○救急法 ○スノースポーツの変遷 ○技術指導法
- 雪山の安全対策論 ○指導者論・技術検定（メダル）
- 対象に応じた指導（障がい者スキー）

ロ. 出題及び採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーが出題し、通信講習修了後最低 3ヶ月間でレポートを提出する。採点は出題者が行い、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

2. 実技

(1) 集合講習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- ロングターン ○ショートターン（両脚操作） ○総合滑降 ○エアー

ロ. 採点方法

会長が委嘱した 2名の講師またはイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

140点以上を合格点とする。

3. 指導実習

(1) 集合講習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 指導計画の作成 ○個人指導 ○集団指導 ○対象に応じた指導
- 指導実施後の評価

ロ. 採点方法

会長が委嘱した 2名の講師またはイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。
採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

140点以上を合格点とする。

スノーボード・ステージⅢ

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○スノースポーツ産業の現況 ○施設・経営論
- トレーニング論・基礎と専門 ○コンディショニング ○技術論
- 技術指導法 ○スキーマの山岳と気象・雪崩

ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

(2) 通信講習

イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○スノースポーツ産業の現況 ○施設・経営論
- トレーニング論・基礎と専門 ○コンディショニング ○技術論
- 技術指導法 ○スキーマの山岳と気象・雪崩

ロ. 出題及び採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーが出題し、通信講習修了後最低 3ヶ月間でレポートを提出する。採点は出題者が行い、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

2. 実技

(1) 集合講習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- ショートターン（不整地を含む）
- 総合滑降
- スイッチ&フェイキー
- ジャイアントスラローム
- エアー

ロ. 採点方法

会長が委嘱した 3 名の講師またはイグザミネーターによって採点し、3 名の合計点とする。採点は300点満点とする。

ハ. 合 否

240点以上を合格点とする。ジャイアントスラロームは前走者のSLTの105%以内を男性の合格とし、女性は115%以内とする。ただし、50歳以上の者は110%以内を男性の合格とし、女性は120%以内とする。

3. 指導実習

(1) 集合講習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 指導計画の作成
- 個人指導
- 集団指導
- 対象に応じた指導
- 指導実施後の評価

ロ. 採点方法

会長が委嘱した 3 名の講師またはイグザミネーターによって採点し、3 名の合計点とする。採点は300点満点とする。

ハ. 合 否

240点以上を合格点とする。